

明日 への 話題

資産形成と 資産承継



みずほ証券
取締役社長

はまもと よしろう
浜本 吉郎

長寿国日本は、人生100年時代の本格化をどの国よりも早く迎えつつあり、資産形成や資産承継の重要性が増してきている。老後資金不足問題も広く認知され、最近においては若い世代も含めて資産形成に対する関心が高まっている。他方で、ロシア、ウクライナ紛争、米中問題といった世界的な政情不安、インフレの進行や各国金融政策の転換も相まって、实体经济や金融市場の動向にも留意が必要な状況である。このような状況であるからこそ、当社を含む金融機関が果たす使命も大きい。高まりつつある資産形成・承継への機運を下火にさせないためにも、徹底的にお客さまに寄り添う姿勢がより重要になってきている。

お客さまに寄り添うという観点で、一人ひとりの資産状況やニーズに基づいたコンサルティングによる価値提供が鍵になる。如何に資産を形成し、承継していくかは、正にお客さまの人生に寄り添うことに他ならない。長期・分散・グローバルといったキーワードのもと、一人ひとりの資産を着実に増やし、遺言信託や遺産整理等も活用しながら、安心かつ円滑に資産を承継することは、少子高齢化が進む日本がサステナブルに成長する上で極めて大事なことでありと感じている。

デジタルネイティブであるZ世代が社会の中心になる日も近く、資産形成・承継分野においてもデジタル化が欠かせない。ネット、スマホからメタバースまで多様なチャネルで、多様なお客さまのライフスタイルに寄り添っていく必要がある。また、デジタルとリモートの時代だからこそ、対面営業におけるデジタル化も重要だ。AIによる分析を通じた人材育成や、コンプライアンス、マーケティングの高度化が、提案力向上の観点で外せない要素になりつつある。

人口減が不可避な日本ではあるが、他方で個人金融資産は2030年に約2,300兆円に達するというデータもある。また、今後20年間、相続1,000兆円時代にも入っていく。長寿先進国の日本だからこそ、資産形成・承継は成長産業の一つになる。一人当たりの金融資産も増える中、我々がプロフェッショナル리티を發揮し、お客さまの資産形成、承継をサポートすることで、ひいては長らく低成長が続く日本浮上にも繋がるはずだ。お客さま一人ひとりの豊かな人生実現のため、そして今後の日本のために、今日も一人でも多くのお客さまの声に耳を傾け、行動したいと思う。